

第 337 回 所長会議議事要旨

日 時 令和 6 年 1 月 31 日 (水) 13 : 30 ~ 14 : 35

場 所 管理棟大会議室 + ウェブ (Teams) 併用

出 席 者

【構成員】 山内機構長、足立理事、内丸理事、岡田理事、幅理事、齊藤素粒子原子核研究所長、小杉物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、小林 J-PARC センター長 (東海キャンパス所長)

【オブザーバー】 住吉監事、浅井機構長補佐

【管理局等】 永木研究協力部長、外山施設部長、幸田参事役、柴沼参事役、坏監査室長、櫻井人事担当課長、日下田職員担当課長、仲島情報基盤管理課長、永見財務企画課長、土田契約課長、岡田研究協力課長、岩見連携推進課長、島根共同利用支援課長、河西 QUP 業務推進室長、丹生国際企画課長、山口国際プロジェクト推進室長、佐藤施設企画課長、鈴木資産マネジメント課長、柴原東海管理課長ほか

議 事

【1】第 336 回議事要録の確認について

資料 1 のとおり了承された。

【2】協議

(1) 情報公開規程等の一部改正について

内丸理事から、資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(2) 損害保険について (機構単独加入保険)

内丸理事から、資料 3 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(3) 技術職員昇任人事のポスト配分について

幅理事から、資料 4 に基づき説明があり、審議の結果、ポスト数誤りを修正することを含め了承された。

(4) 応用超伝導加速器イノベーションコンソーシアムの設立について

足立理事から、資料 5 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

なお、コンソーシアム会員の特典について質問があり、技術情報を共有するための情報交換会、セミナー等を年数回開催する計画であり、参加できることが主な特典となる旨の説明があった。

(5) 2024 年度第 1 回・短期海外招聘研究員及び招聘研究員受入計画について

岡田理事から、資料 6 及び席上配付資料 1 に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

なお、過去 3 年の実績を踏まえ配分を決める方法の場合、コロナ禍の影響もあり実情を反映したものではないことから、コロナ禍前の状況を踏まえた上で決めて欲しいとの意見があり、過去の実績に固定化されることも問題であり、今回はコロナ禍で影響を受けた 2021 年を除いた期間の実績を勘案し、2 回目以降については予備費も含めて柔軟に対応することとした旨の説明があった。

また、本資料では見えてこないが、今年度はコロナも明けたことから需要が多く予算額では足りないということもあり、各研究所・施設で不足分を補填する形で収めたという経緯がある旨のコメントがあった。

次回以降の受入計画については、色々な観点を配慮した配分となるよう新年度の所長会議で議論することとした。

(6) 教員公募（素核研・特任助教1名・Belle）

齊藤所長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、「Working Hours」欄の記載について「裁量労働制について、本人の意思に基づき選択可」という内容への文言修正の必要性を確認の上、反映することを含め了承された。

(7) 特定有期雇用職員の雇用計画・公募について（物構研・特別助教若干名・中性子）

小杉所長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果、「5. 勤務形態」欄の記載について「原則として」の文言追加の必要性を確認の上、反映することを含め了承された。

<協議事項（8）～（10）はクローズド協議>

(8) 名古屋大学とのクロスアポイントメントの実施について（素核研（理論））

齊藤所長から、別途配信資料9に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(9) 特定有期雇用職員の雇用計画について（物構研（新領域）・特定人事・特別教授1名・大阪大学とのクロスアポイントメント）

小杉所長から、別途配信資料10に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(10) 長期海外派遣制度 2024年度派遣候補者の選考について

岡田理事から、席上配信資料2に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

【3】報告

(1) 令和6年度機構関係予算案の概要について

内丸理事から、資料11に基づき報告があった。

【4】その他

(1) 2024年度に向けた各種委員会等の委員改選について

幸田総務課長から、2024年度の各種委員会の委員改選について、総務課から各所長、施設長宛に依頼を行うので、必要な委員の選出をお願いしたい旨、連絡があった。

以上